

カラー特集	第15回ジャパントップ12大会……【2】
レポート	日本代表選手合宿レポート……【4】
選手に聞いた	日本生命卓球部……【6】
インタビュー	石川佳純(ミキハウスJSC)……【8】
用具紹介	多田進(親愛ムーサスクール代表)……【10】
エリートアカデミー3期生	森田彩音、石川梨良……【12】
大会ハイライト	第15回ジャパントップ12大会……【14】
インタビュー	藤本海統(滝川第二高校)……【16】
チャンピオンズ・テクニク	水谷隼対吉田海偉……【18】
夢に向かった散歩道	近藤欽司(前日本代表女子監督)……【20】
練習のヒント	織部幸治(ITS三鷹代表)……【22】
中学生の指導	多田進(親愛ムーサスクール代表)……【24】
もっと素敵に卓球	山中教子(サウンド球貴代表)……【26】
マンガ	花丸たつきゅう 高橋達央……【27】
大会報道	2010あずみの湧水 クックママ交流大会……【39】
訪問レポート	L・フレンド(愛知)、横浜ラージ(神奈川)……【42】
インタビュー	倉嶋洋介(協和発酵キリン)……【45】
訪問レポート	希望が丘高校(福岡)、柳川高校(福岡)……【46】
ショップ紹介	こぞのえスポーツ(福岡県)……【51】
卓球場訪問	カミ卓球場(大阪)、ESC卓球教室(大阪)……【52】

第5チャンネル……【28】
ピンポン東西南北……【30】
各地レポート……【31】
各地ラージ大会……【40】
アープでラージ……【41】

みんなのコーナー……【44】
編集室……【44】
ニッタク講習会……【54】
卓球ファンnet……【55】

Message

ラージボールを始めて今年で11年になる。

最近では、地元の埼玉県内はもとより、関東、東北、新潟などで講習会を依頼されることが少なくない。

昨年11月新潟県柏崎市で講習会を行った。帰り道、同行した馬場穂行さん(アープインストラクター)との会話の中で、わかったことが一つあった。

講習の中では参加した人たちに話をしていたが、ゲームになるとなかなかできなかったことである。

アープでは、飛んでくるボールと息の合った会話をするように、止まることなく流れにのって打球しましょう、

という指導をしている。しかし、講習や練習の中ではできても、いざゲームになるとできないものである。

どうしてか。それは身体(下半身)が止まっていたからである。股関節、膝、足首をゆるめ、特に膝をゆるめて、飛んでくるボールのリズムに合わせるということができていなかったからだ。

例えば、フィギュアスケートでは技を技として表現するのではなく、曲の流れ(リズム)にとけこむことで調和のとれたすばらしい演技を披露することができる。

これがリズム(時間)を合わせることである。(片野)



表紙
第15回ジャパントップ12
女子シングルス
優勝の石川佳純(ミキハウスJSC)
撮影 安部俊太郎